

令和2年度 事業報告書

I. 事業の概要

公益法人として第9期となる令和2年度は、

1. 奨学金事業として

(1) 県内在住17名の高校奨学生及び大学院奨学生1名に対し、奨学金を給付した。

(2) 奨学生同志の交流を深めるため懇親会を2回開催した。

(3) 創設50周年記念事業を実施した。

その1. 「高校生作文コンクール」

その2. 前園実知雄理事を講師とする講演会の開催

2. 奈良県立橿原考古学研究所へ学術研究の為の書籍を寄贈した。

3. 公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団に研究助成金の寄付をした。

II. 事業活動

1. 奨学金事業

(1) 本年度は、新採用の6名を含めて計17名の高等学校奨学生に対し月額3万円、1名の大学院奨学生に対し月額10万円の奨学金を給付した。

(2) 懇親会

《第1回》

文書による意見交換参加者 在学奨学生18名 ・ 卒業生12名 / 計30名

・夏の懇親会は、8月23日(土)開催の予定であったが、コロナ感染の急な拡大により開催は中止し、その代わりとして、在学奨学生と奨学生の卒業生に修徳会関係者が加わり、「在校奨学生から提案され選ばれた2個のテーマ」と「今、このコロナの時代だからこそ、気づいたこと」について、文書による意見交換を行った。文書は、『夏の懇親会中止にあたり』を表題とし、3部構成にして作成。各々に送付した。

《第2回》

令和3年3月27日(土)開催 在学奨学生13名 ・ 卒業生6名 / 計19名参加

・当日は、三密を避け、消毒やマスクをし、アクリルの仕切りも設置した上で、恒例の参加者

全員での自己紹介を開始した。午後からの話し合いについては、開催前に奨学生からメールで寄せられた26個のテーマ候補の中から、当日多数決で2個を選択し、それについて一人一人が自分の意見を述べた。前회가コロナ感染で集まることができなかつたことから、会って話す大切さを実感できたように思われる。

(3) 創設50周年記念事業を実施した。

【創設50周年記念事業実施報告書】

主催者	公益財団法人修徳会
事業名	公益財団法人修徳会創設50周年記念事業 その1. 「高校生作文コンクール」 その2. 奈良芸術短期大学前園実知雄教授(当財団理事)を講師とする 講演会 演目『 考古学と私 』
事業の趣旨	創設40周年記念事業として、当財団が行っている奨学金事業の対象である県内の高校生を対象として5回の講演会を開催してきたが、創設50周年としては、高校生自身が、『今という時代をどう受け止めているか、そしてこれからどうあってほしいか、自分自身はどうありたいか』を考える機会となればという思いから、「高校生作文コンクール」と「講演会」を実施した。
事業内容	<p>その1. 「高校生作文コンクール」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからを生きる高校生として、『今という時代をどう受け止めているか、そしてこれからどうあってほしいか、自分自身はどうありたいか』をテーマにした作文(1,600字～2,000字以内)を募集 ・募集方法 ①奈良県内のすべての高校に募集要項を送付 ②奈良新聞に募集内容を掲載 ・募集期間 令和2年9月1日～10月31日(当日消印有効) ・募集対象 奈良県内の高校に通学する高校生(定時制、通信制、特別支援学校を含む) ・応募数 54作品 ・選考方法 修徳会役員及び評議員の中から10名を選考委員となり、「文章力」、「独自性」、「思いの伝わり度」をポイント制にして審査。優秀な作品が多かつたので、後日、選考委員による協議の結果、奨励賞も設けることとなつた。 ・選考結果 優秀賞(5作品)及び奨励賞(5作品)を選出

<ul style="list-style-type: none"> ・結果発表 該当する学校長へ通知。当法人のホームページ上 ・賞品 優秀賞 奨学金 10万円及び賞状 奨励賞 図書カード 1万円及び賞状 ・参加賞 応募者54名全員に図書カードを送付(2,000円分) ・授賞式 令和3年3月12日(金曜日) 午後5時より 修徳ビル地階を会場にして開催 ・優秀作品は、奈良新聞、当財団のホームページに掲載 <p style="text-align: center;">その2. 奈良芸術短期大学前園実知雄教授(当財団理事)を講師とする講演会</p> <p style="text-align: center;">演目『 考古学と私 』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時 令和2年11月22日(日) 午後2時より午後3時45分まで ・開催場所 修徳ビル地階 ・募集方法 ①奈良県内の高校に募集要項を送付 ②奈良新聞に募集内容を掲載 ③歴史地理部等がある高校11校の部顧問の先生に送付 ・募集期間 令和2年10月1日～10月31日(当日消印有効) ・募集対象 奈良県内の高校に通学する高校生 ・応募人数 40名 ・入場料 無料 ・参加人数 16名(内、高校生15名、大学院生1名)

2. 奈良県橿原考古学研究所へ学術研究の為の書籍を寄贈した。

寄贈図書については、同研究所から購入書籍報告書を受け取っている。

3. 公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団に研究助成金の寄付をした。